

# フ ラ ッ シ ュ

Part 1

7.31

## 科学っておもしろい！ 温海

温海第4地区公民館事業 おもしろ実験教室



鼠ヶ関青少年海洋センターでもしる実験教室が行われ、小学生四十四人が参加しました。夏休みに入り、真っ黒に日焼けした子供たちも、この日は外で遊ぶのを休んで科学の実験です。



最初は炭酸について学んだ後、好みの味のサイダー作り。ペットボトルの中の冷水に、クエン酸と炭酸水素ナトリウムを入れます。子供たちは「これで本当に作れるの？」と半信半疑。ガムシロップや色を加えて何回も味見をすると「あま〜くねえ〜と炭酸だ」と言い、イメージとは少し違うものの「サイダーができた」とうれしそうでした。先生から「市販の炭酸飲料は砂糖が大量に入っているから甘いんだよ」と教えてもらい、納得した表情を見せていました。

次の実験は、エタノールに大量のドライアイス混ぜると急速に温度が下がる現象を利用した、アイスキャンディー作り。子供たちは試験管にジュースを入れます。

「もう一回」と言っては何回も作っていました。科学の面白さを舌でも感じる事ができたようです。

7.27

## 僕たちの命を守る病院 鶴岡

荘内病院探検隊～君も命を救う一員だ!!～



地域医療における荘内病院の役割や、救急救命など家庭でも活用できる医学知識を学んでもらおうと行われたこの企画に、小学五年・六年生十四人が参加しました。「院内探検」ではふだん見ることができない病院の施設を見学できるとあって、子供たちはワクワクしている様子。屋上へリポートでは景色のよさを楽しみながらも、災害時や患者の搬送の際に重要な役割を担っているとの職員の説明を熱心に聞いていました。また地下の防震装置や、患者の症状に合わせて一日約



百三十種類・約千食の食事を作っている栄養科等を見学し、病院の様々な施設や、医師を始めとする多くの職種の職員等が地域医療を支えていることを学びました。「体験コーナー」では体の仕組みを学び、心肺蘇生法等を体験。「一分間に百回のペースで」と看護師から説明を受け、「つらい」と言いながらも、心臓マッサージを行っていました。地域医療における荘内病院の重要性や命を守る大変さを学んだ子供たち。「自由研究に生かしたいな」と笑顔で話してくれました。

# 声 Voice

市役所への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。送り先 総務課広報聴係

**Q** 住民登録をしていないのに市税を払うの？

鶴岡市に住民登録をしていなくても、実際の居住状況などによって市税が課税される場合があると聞きます。それはどういった場合なのでしょうが。

**A** 住居外課税・家屋敷課税制度があります

個人の市税は、その年の一月一日の住民基本台帳に登録されている市区町村で課税されます。ただし、生活の本拠（日常生活の中心）として住民基本台帳の住所と異なる所で認定を受ければ、その認定を受けた市区町村で課税されます。これを住居外（住居外）課税といいます。この場合、二重に課税されることを防ぐため、市税を賦課しようとする市区町村が住民登録地の市区町村に通知します。

また、生活の本拠が他市区町村にある一方、住民登録地に生活で

ま

ち

か

ど

8.15

荒川の伝統を継承するために 羽黒  
荒川八幡神社例大祭



地区の繁栄や安全を祈願して行われた荒川八幡神社例大祭に、今年も多くの住民が参加しました。伝統や文化を後世に継承する取り組みを進めている荒川地区。同神社に残る行事を記録し後世に伝えようと、今年は初の試みとして「鶴岡いきいきまちづくり助成事業」の支援を受け、「荒川八幡神社写真コンテスト」の開催も予定しています。



好天に恵まれたこの日、ほら貝の音が高らかに鳴り響きました。天狗を先頭に、子供神輿や稚児衣装に身を包んだ園児等の祭り行列が、太鼓の音に合わせて練り歩き、神社を目指します。沿道は行列を一目見ようとする住民や、コンテストへ応募する作品を撮る写真愛好家でにぎわいました。神社へ到着後は、境内で謡や獅子舞等を奉納。女子児童が奉納した巫女舞では、かわいらしく一生懸命に舞う姿に観客は見入り、会場全体が賑やかな雰囲気になりました。

「今後は祭りを大きくして、より多くの方に参加してもらいたい」と話す金岡宮司。今の子供たちや若者に、「伝統や文化が引き継がれていくことが期待されます。」

8.7

みんなで作ったカレーは最高 朝日  
本郷保育園「ふれあいカレーパーティー」



「いつぱい食べるぞ」「僕も！」教室からにぎやかな声が聞こえてきます。この日は、園児らのおじいちゃんとおばあちゃんを招待しての「ふれあいカレーパーティー」。みんなずつと楽しみにしていました。



カレーに使うスペシャル食材はジャガイモ。これは春に年中・年長組の園児らが、おじいちゃんたちと一緒に保育園の畑に植えたものです。大きく育ったことを喜びながら、パーティー前日に収穫しました。この他、ニンジンやタマネギなどの食材を、園児もほくほくだの」とみんな笑顔で類張っていました。中にはお代わりする園児も。大事に育てたジャガイモを入れ、一生懸命作ったカレーの味は格別だったみたいです。

小さい組の園児らも一緒に出来上がったカレーの昼食です。「いただきます」の掛け声で食べ始めると、「おいしい」「ジャガイモがおいしい」。

【事例を見てみよう！】  
例① B市で住民登録をしていますが、鶴岡市で生活しています。生活のための所得も鶴岡市で得ています。  
↓生活の本拠が鶴岡市にあるので、鶴岡市で市民税を課税されることとなります。

例② 単身赴任のため、C市で住民登録をしていますが、休日は家族の住む鶴岡市へ帰り過しています。

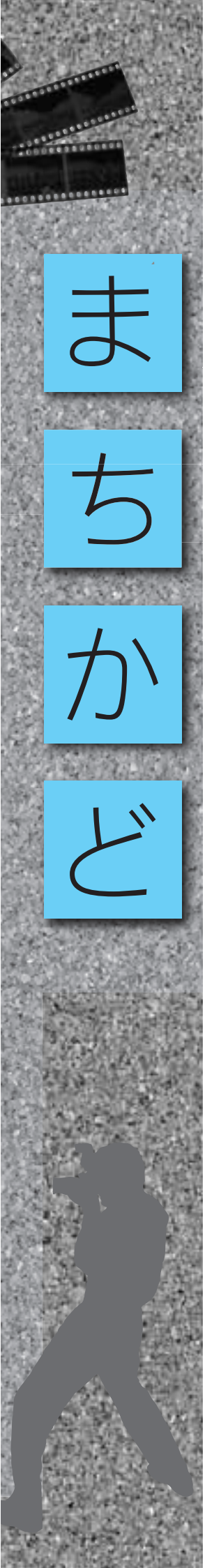


↓家族の住む鶴岡市を生活の本拠として認定することができます。  
例③ D市で住民登録をしており、生活もD市でしています。鶴岡市にも生活できる家がありますが、他の人に貸してはいません。

↓固定資産税の他に、市民税として家屋敷課税を課税される場合があります。

詳しくは、本所課税課市民税係 ☎25 2111内線201~204 または各地域庁舎税務担当へお問い合わせください。

課税課



ま

ち

か

ど

7.25~27

### 凛とした表情の 舞手のたまご

倭舞練習会

榎引



榎引・朝日地域、斎・黄金地区などの女子児童約四十人が榎引公民館で倭舞を練習しました。歩き方や正座など基本的な所作を学んだ後、「若宮」、「君が代」の舞を練習。始めは講師の動きについていくのがやっとだった児童たちですが、日に日に上達していきます。今後、市内各所の神社の祭りなどで、彼女らの倭舞が奉納されることでしょう。

7.28~29

### 思い出いっぱい の二日間

ジュニアキャンプ

朝日



毎年恒例のジュニアキャンプが大鳥地区で開催され、朝日地域の小学六年生三十八人が参加しました。児童らは川遊びなどで大自然を満喫。また、中学生、高校生のボランティアなどの指導の下、協力しながらテントの設営や食事の準備をしました。仲間と一緒に過ごし、キャンプ生活を楽しむことで、お互いを支え合うことの大切さを学んだようでした。

7.30

### 楽しんでくれて うれしいな

レッツ・園ジョイ・ボランティア

藤島



藤島地域の小学五年・六年生が地元の保育園等でボランティア体験をする、夏休み恒例のこの事業。藤島くりに保育園を訪れた児童十一人は、プール遊び等をおして園児と交流しました。園長先生が「お姉さんたちと遊んで楽しかった?」と聞く、「ハイ」と元気に笑顔で答える園児たち。それを見た児童らもうれしそうに笑顔を浮かべていました。

7.31

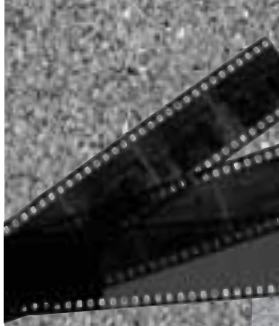
### 魅力発見! 史跡探検

手向地区公民館「手向史跡めぐり」

羽黒



手向地区の小学生を対象に、地区の歴史や魅力を知ってもらおうと行われた史跡めぐり。この日は出羽三山歴史博物館学芸員・渡部幸氏を講師に、昔の地図を広げて、大鳥居から公民館までの神社や石碑を巡りました。子供たちは史跡の成り立ちや地名の由来などを学びながら、「いろんな史跡が家の近くにあったんだの。知らなかった」と話していました。



# フ ラ ッ シ ユ

## 8.5

### 伝統芸能が一堂に!

藤島

ふじしま夏まつり「庄内伝統芸能祭」



今年の庄内伝統芸能祭には、藤島地域で活躍する団体を中心に、十三団体が出演。かわいらしい子供から年配の熟練者まで、多くの出演者が祭りを盛り上げ、会場は熱気に包まれました。「傘まわし」や「たてもの」等の演目を次々に披露する「古郡神楽」の他、太鼓演奏や獅子踊りなど、多彩な伝統芸能が集結したステージに観客は酔いしれていました。

## 8.5

### ビールもいけど運動も…

榑引

春日の杜の宵まつり



王祇会館多目的ホールがビアホールに?くしびきスポーツクラブ主催の「春日の杜の宵まつり」が開催され、同クラブの会員や近隣住民が集いました。会員による合唱やよさこいソーランが披露された他、参加者全員で健康体操をしたり、花笠音頭を踊ったり。ビールを飲みつつも、スポーツクラブ主催の行事らしく健康にも気を配った祭りとなりました。

## 8.5

### 夏祭りさ来てみっっちゃ!

羽黒

羽黒四小地区公民館「こたま夏祭り」



住民の声で三年ぶりに開催された夏祭りに、約百人が集いました。地区の集落ごとに模擬店を出すなど、住民の手作りによるこの祭り。羽黒四小児童の絵画や書道、公民館主催の手作りコサージュ教室受講生の作品展などもあり、会場はにぎわいました。最後には参加者全員で花笠音頭。「やっしょ!まかしょ!」の掛け声で地区の絆が深まったようです。

## 8.8

### ボランティアの“心”を学ぶ

温海

温海公民館講座「ボランティア養成講座」



ボランティア活動への理解を深めてもらおうと、温海地域の中学生、高校生を対象に実施している養成講座。この日は温海庁舎で障害者等専用駐車場の塗り替え作業をしました。強い日さしの下、ペンキを手や服に付けながらも丁寧に塗る受講生たち。作業後に行った車椅子体験では、自ら操作してみることで、利用者や助手者の大変さを実感した様子でした。